

# チャペル週報

人にしてもらいたいと思うことを、  
人にもしなさい。

(ルカによる福音書 6:31)



2011.10.31.~11.11 No.19  
関西学院宗教センター

## ☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

|           |  |
|-----------|--|
| 10月31日(月) | <p>神 国際交流 協力支援団体 CLUB GEORDIE<br/>           経 人間を考える⑥ 韓 燕 麗 (経済学部助教)<br/>           人 音楽チャペル 聖歌隊<br/>           聖和 聖書物語「たからさがし」</p>   |
| 11月1日(火)  | <p>神 一歩スマイルプロジェクト 報告礼拝<br/>           文 アンドレアス・ルスターホルツ (宗教主事)<br/>           社 共に生きる④ 岡 田 弥 生 (社会学部教授)<br/>           経 舟 木 讓 (宗教主事)<br/>           商 音楽チャペル ハンドベルクワイア<br/>           国 宗教総部千刈リーダー<br/>           聖和 関西学院大学学生会宗教総部<br/>           総 小 池 洋 次 (総合政策学部教授)</p>   |
| 11月2日(水)  | <p>神 中 田 道 隆 (M1)<br/>           社 人権を考えるチャペル 貴 戸 理 恵 (社会学部助教)<br/>           法 「祈りから出発する」Christian Morimoto Hermansen (宣教師)<br/>           経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)<br/>           商 「東日本大震災復興夏ボランティア報告」<br/>           聖和 聖和大学教育学部学生有志<br/>           人 駒 木 孝 亮 (周船寺教会牧師)<br/>           国 平 林 孝 裕 (宗教主事)<br/>           聖和 「実習を終えて」保2<br/>           理 「アメージング・グレース」松 木 真 一 (宗教主事)<br/>           総 村 瀬 義 史 (宗教主事)</p> |
| 11月7日(月)  | <p>聖和 聖書物語「本当の友だち」</p>   |
| 11月8日(火)  | <p>神 ゴスペルクワイア (Power Of Voice) による音楽礼拝<br/>           文 アンドレアス・ルスターホルツ (宗教主事)<br/>           社 チャペル・ギター・コンサート クラシックギター部有志<br/>           法 ボランティア報告チャペルⅠ 小見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)<br/>           経 人間を考える⑦ 増 永 俊 一 (経済学部教授)<br/>           商 山 本 俊 正 (宗教主事)<br/>           国 平 林 孝 裕 (宗教主事)<br/>           聖和 徳 田 真 二 (総合支援センター事務長)<br/>           総 学生による活動報告</p>  |
| 11月9日(水)  | <p>神 西 川 みちる (M2)<br/>           社 共に生きる⑤ 鳥 羽 美 鈴 (社会学部助教)<br/>           法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)<br/>           経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)<br/>           商 音楽チャペル 聖歌隊<br/>           人 嶺 重 淑 (宗教主事)<br/>           国 音楽チャペル バロックアンサンブル<br/>           聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)<br/>           理 賛美礼拝 理工学部ハンドベル<br/>           総 村 瀬 義 史 (宗教主事)</p>   |
| 11月10日(木) | <p>神 橋 本 かおり (夙川東教会牧師)<br/>           文 成 岡 宏 晃 (神学部大学院生)<br/>           社 秋の音楽チャペル④ ハンドベルクワイア<br/>           法 ボランティア報告チャペルⅡ 小見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)<br/>           経 人間を考える⑧ 加 藤 雅 俊 (経済学部助教)<br/>           商 木 山 実 (商学部教授)<br/>           国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)<br/>           聖和 ネパール報告「ネパールを訪ねて」<br/>           総 上 野 真城子 (総合政策学部教授)</p>   |
| 11月11日(金) | <p>院 松 本 あずさ (神学部院生)<br/>           神 岩 野 祐 介 (神学部准教授)<br/>           文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)<br/>           経 舟 木 讓 (宗教主事)<br/>           人 音楽チャペル バロックアンサンブル<br/>           聖和 「心を開ける」吉 田 七 穂 (教務補佐)<br/>           理 「想い出のウイーン少年合唱団」松 木 真 一 (宗教主事)</p>   |

# 関学に赴任して

水 戸 考 道

国際基督教大学(ICU)の2年生の春学期、英国留学の直前に大学のチャペルで洗礼を受けた。卒業直前の礼拝で「卒業クリスチャン」にならないようにという警告があったのを覚えている。それは大学卒業とともに教会から足が遠のき、神様からも離れてしまってはならないという注意であった。実際卒業後、時には教会にあまり行かない生活が続いた事もある。

昨年(2019年)の4月より全学カナダ研究・交流担当の教授として関学に迎えて頂いた。ICU卒業後、カナダ・イギリス・オーストラリア・香港・日本の7、8の大学で教鞭をとったがミッション校で働くのは初めてであった。各学部にはチャペルがあり、宣教師や宗教主の先生がおられるのみならず毎日チャペルアワーがあるのは新鮮でとてもうれしい。特に所属の法学部のチャペルは何か歴史の重みも感じる。そのようなチャペルで法学部宣教師のクリスチャン・ヘアマンセン先生からチャペルアワーで何かお話をしてほしいというお願いを頂き、我ながらびっくりしてしまった。昨年(2018年)の12月に結局生まれて初めてそのような神聖な場所で「一番悲しかったクリスマス」という題でお話をさせて頂いた。私の経験をもとに、どんなに悲しい時でも苦しい時でもクリスチャンには祈りを通して神様にお願いの事が出来るのは大きな救いと強みであると素晴らしい特権を皆と共有したかったのだ。

法学部ではクリスチャンの先生方が何人かいらっしゃってお昼をご一緒しながら懇談する事もある。ある時、皆の前で祈りを頼まれこれまたびっくりしてしまった。海外生活の長い私は日本語で祈ることはあまりなかったのだ。そうこうしているうちにICUに事務局のあるアジアキリスト教大学連盟(ACUCA)の加盟大学の学長や副学長のマネジメント国際会議でアテネオ・デ・マニラ大学の前学長とともに基調講演をお願いされこれまた驚いてしまった。私のような未熟なクリスチャンがどうしたものかと心配はしたものの、特に長い経験のあるIT技術革新と学生交流関係のテーマでよいということであったのでお引き受けすることにした。9月中旬に関学を会場に3日間ほど開催された。どの大学の代表も優れた人格者であったばかりかハーモニカやらカラオケやら素晴らしい才能の持ち主が多かった。一番圧倒されたのは全員が敬虔なキリスト者であったことだ。宗派に関係なく、祈りで始まり、祈りで終わった。EUのように地域統合していないアジアにおいてこれほど団結力のある集団は数少ないのではないかと。アジア各国も結集し、恐怖からの自由、貧困からの脱出、そして持続性のある成長と平和という大目標に向かって団結してほしい。基調講演ではそのためにミッション校は一体となってアジアのさらなる前進を支える世界市民を育成すべき時期にさしかかっており今まで以上に大きな使命があると強調した。

とはいえこんなに未熟なキリスト者である私が、そのような事を提言してもいいのであろうか。いつもこのような疑問が脳裏をかすめるが“Mastery for Service”をモットーに関学はそのような私を無視している。そんな関学が好きだ。お陰で「卒業クリスチャン」でよろずにすんでいる。深く感謝したい。

(法学部教授)

## ●2011年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む(2010年度～2014年度)

「人災としての東北大地震 ～地球の上で人間は何をしているのか?～」

講師：桃井 和馬 氏(写真家、ジャーナリスト)

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

①11月14日(月)15:10～16:40

於：神戸三田キャンパス II号館 101号教室

②11月15日(火)11:10～12:40

於：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール

「[民政移管]後のビルマ(ミャンマー)：開発事業がもたらす環境・人権への悪影響」

講師：秋元 由紀 氏(ビルマ情報ネットワーク ディレクター)

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

と き：12月1日(木)16:50～18:20

ところ：西宮上ヶ原キャンパス B号館 101号教室

## ●キリスト教と文化研究センター主催講演会

「宗教は戦争の原因なのか?」

講師：桃井 和馬 氏(写真家、ジャーナリスト)

と き：11月14日(月)11:10～12:40

ところ：西宮上ヶ原キャンパス B号館 201号教室

桃井 和馬氏プロフィール

1962年生まれ。これまで世界140カ国を取材し、「紛争」「地球環境」などを基軸に、独自の切り口で「文明論」を展開。講演・講座の他、テレビ・ラジオ出演多数。第32回太陽賞受賞。著書に「すべての生命(いのち)にであえてよかった」(日本キリスト教団出版局)、「妻と最期の十日間」集英社新書・他多数。共著最新刊は「3・11メルトダウン」(凱風社)。恵泉女学園大学客員教授(人文学部)。

## ●キリスト教と文化研究センター主催写真展

と き：11月10日(木)～16日(水)9:00～18:00(土日を除く)

ところ：吉岡記念館ラウンジ

桃井和馬氏が参加する写真家7人によるプロジェクトチーム「Eyewitness(目撃者たち)」撮影の写真展を開催します。自然の大切さ、雄大さ、またその中で破壊など、地球環境をテーマにした作品48点が集められています。

## ●ランバスチャペルアワー

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。秋学期の予定は以下のとおりです。

11月15日(火)「沈黙」との出会い

ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)にて10:35～11:05

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

11月4日(金) アンドレアス・ルスターホルツ(文学部宗教主事)

11日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)

18日(金) 田淵 結(教育学部宗教主事、宗教総主事)

25日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)

## ●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。